

演奏響く

吹奏楽部

定期演奏会

明倫新聞

発行：「学校を元気に!」の新聞部
石川県立野々市
明倫高等学校
野々市市下林3 - 309

定期演奏会 特別号

OB楽団を交えた合奏は会場を圧倒した!! フォルテ



めいちゃん放送局は会場を楽しませた!! 同所



野々市市明倫高校吹奏楽部の「第27回定期演奏会」が3月31日、野々市市文化会館フォルテで行われた。3年生が最後のステージになる同演奏会には、作曲家の鈴木英史先生や、OB、OGが参加した。

演奏会は、校歌の演奏で幕開け。第一部は、2月に開催された「第6回シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会」で金賞を受賞した「Camatada」と「スペイン」を披露し、観客を魅了した。その後、吹奏楽部のOBの木村茉莉さんがマリリンバの独奏を交えて「マリリンバとバンドのため」の協奏曲「睡蓮の花」より庭園」を吹奏楽部とともに演奏した。そして鈴木先生が指揮を務め、「吹奏楽のため

の「ワルツ」と「交響曲第2番より『第3楽章』」が演奏された。第二部のOB、OGのステージでは「アルセナール」「交響組曲パイレーツ・オブ・カリビアン」が演奏され、OB、OGによる披露された。OB楽団によるゲーム企画では、会場が大きな笑いに包まれた。

第3部は、今回で5回目の開局となる「めいちゃん放送局」で寸劇を披露し、会場を楽しませた。今回の寸劇は「思い出」をテーマに、リスナーから思い出に関するお便りをももらうという形で劇が進められた。講演会の最後には卒業生19人がステージ最前列に並び、顧問の桶川亮一先生の呼名に答え、巣立つ決意を示した。最後に後輩とともに「道」の合唱を披露し、会場は感動に包まれた。

桶川先生の呼名に答える卒業生!! 同所



成果をしっかりと出せたのでよかった」と演奏会を振り返った。